

本多造園土木 株式会社

建 設でも何でも、地元
に貢献するという理
念をもって取り組んでい
る。
仕事に取り組む思いを
話すのは、本多造園土木
株式会社の代表取締役を
務める本多弘美さん（内
荒巻）。同社は昭和57年
3月に創業、平成26年に
法人化しました。本多さ
んは平成12年から代表を
務めるとともに、内荒巻
で農家民宿「花みずき」
も経営しています。
造園業についてどのよ
うなものか質問すると、



造園業の魅力を語る本多弘美さん

**地元貢献するという
理念を持って**

「『造る園』というのとおり、
木を植える、芝を張るといっ
た緑化などです。植木を扱う
業者の方との取引や、付き合
いのあったお客さんの植木の
剪定などもあります。」と説
明してくれました。
ここで働く従業員は町内外
の6名。現在も入社希望
者を新卒・中途に関わらず募
集しています。また、育児休
業の取得など子ども・子育て
支援に積極的に取り組んでい
る企業として、平成28年には
「あきた子育て支援企業」と
して知事表彰を受賞しました。
会社の事務のほか、「花み



本多造園土木株式会社
(峰浜内荒巻字家ノ上41)
TEL 0185-76-3778
・事業内容/造園・とび
土木・土工工事
・主な仕事内容/庭の造
成、緑化、庭木の剪定
などの管理、公共事業、
除雪作業など

ずき」を経営する本多淳子さ
んは、「うちの会社は少人数
だからまとまりがあると思
います。農家民宿も、都会の人
と触れ合えるチャンスがあっ
て良いです。」と話してくれ
ました。
最 後に、造園業のやりがい
について本多さんに聞い
たところ、「木は記念や思い
出になります。花が咲いたり
成長したりもするので、お客
さんが褒めたり良かったと言
ってくれます。」と語って
くれました。

八峰町のなかまたち 八峰町で活動する様々な団体・サークルなどにスポットライトを当てます

Vol.19 石川郷土芸能保存会

石川地区が中心となった団体で、地区に伝わる「駒踊り」や「奴踊り」を保存するため、子どもたちへの継承などの活動を行っています。子どもの参加者はこれまで石川・外林地区でしたが、少子化に伴って募集範囲を広げ、今年からは峰浜地区全体に参加希望者を募集しています。
関東で行われることもあるイベントなどの発表の場では、ステージや音響、お客さんの状況を見ながら、どのようにすれば喜んでもらえるかパフォーマンスを変えています。郷土芸能を保存するために基本を守りつつも、楽しくやらなければ続かないと考え、参加者の自主性を大切にしながら活動しています。

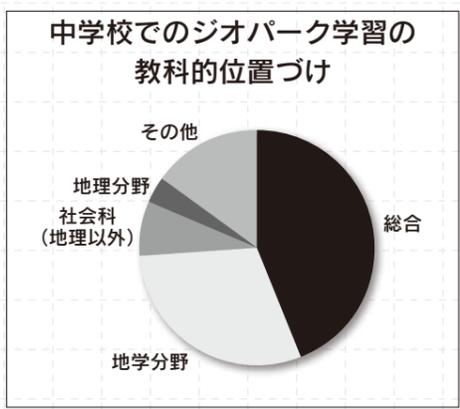


広告募集
このスペースに
広告を掲載して
みませんか？
問合せ先
企画財政課広報情報係
☎76-4603

**ご自宅での家族法要に最適な
会席すし折詰**
でお手頃
お寿司・お刺身
オードブル承ります
お寿司の宅配と
お持ち帰り
すしたいむ
鮎待夢
SUSHI.TIME
能代店
能代市南陽崎31-20
TEL.0185-
55-3277

ジオパークと教育

5月22日に千葉県幕張で開催された第10回日本ジオパーク全国研修会に参加してきました。研修会では「持続可能とは？またその教育とは？」をテーマに、ジオパークが教育にどう関わっていくことができるかについて議論されました。
小・中学校の学習指導要領が平成29年3月31日に改定され、小学校は32年度から、中学校は33年度から全面实施されます。新しい要領では「持続可能な社会」という文言が繰り返し述べられており、これまでジオパークが取り組んできた「持続可能な地域社会づくり」は学校教育でより重点的に扱われることとなります。
ジオパークでは地域にある自然・文化を活用して、大地の成り立ちとそこに暮らす人の歴史を学ぶことができます。そのため、分野を横断した総合的な学習を展開することができます。「中学校でのジオパーク学習の教科的位置づけ」について、日本ジオパークネットワークが2



八峰白神ジオパークでも学校教育への取り組みとして出前授業「火山の噴火実験」や、野外教室「植物化石を探そう！」などを実施しています。今後はよりいっそう地域の教育への取り組みを進めていきたいと考えています。

015年に全国のジオパークを対象に調査しました。この調査によると「総合」が一番多く56%、次いで「地理分野」が38%、続いて「社会科（地理以外）」、「地理分野」という結果でした（※小数点以下省略）。また、単なる「地域学」ではなく、地球規模のスケールで地域を考察することができるのがジオパークによる教育の特徴です。

あきた白神まつり開催!

6月11日に2017あきた白神まつりが八峰町御所の台ふれあいパーク（あきた白神駅）を会場に秋田県主催で行われました。当日は多くの人が会場を訪れ、白神山の恵みを受けた食材や秋田ヤマトセ、ハタヨガなどの出し物を楽しみました。また、留山、御所の台、八峰白神ジオパーク（海岸）を巡るトレッキングツアーも実施しました。このイベントは、白神山の魅力と保全の大切さを発信するために行われたものです。会場には食品ブースの他に、とうふ作りやネイチャークラフトなどの体験ブースが並び、訪れた家族連れで賑わいました。当日は八峰白神ジオパーク協議会もブースを出展し、パンフレットなどを配布して当ジオパークの魅力をPRしました。
また、「ベテランガイドが語る白神の魅力」と題したトークショーが行われ、八峰町白神ガイドの会の辻正英さんと地主武玄さんが白神山に生息する動物やブナの原生林について解



あきた白神まつりで
行われたトークショー

八峰白神ジオパーク推進協議会
地域おこし協力隊 三輪 拓磨
TEL 0185-2632
秋田県山本郡八峰町八森字三十釜一四四一
ふなっこのランド内
TEL 0185-7713086

説きました。また、当町の留山や二ツ森の魅力についても紹介しました。
八峰白神ジオパーク（海岸）を巡るトレッキングでは、合計で16人が参加し、普段何気なく眺めている海岸の秘密を楽しみながら学びました。参加者は「白神のスフィンクス」「瀧安の乙女」などを見学し、日本海がもたらした景観や災害についてガイドから解説を受けました。このイベントを通して八峰町や白神山のPRができたのではないかと思います。